

学校関係者評価報告書（令和6年度）

令和6年度の学校関係者評価委員会を開催し、自己評価結果および発表内容をもとに、学校関係者による評価を以下のとおり実施した。

評価実施日：令和6年10月16日（水）

学校関係者評価委員：

関係企業委員2名、有識者委員2名、卒業生委員1名（計5名）

評価	評価に係る提言・改善等
(1)教育理念・目標 ・昨年からKCS4校で協力した新しい取り組みを実施している。今年も東京ゲームショウ2024にKCS4校として出展し、職員と学生スタッフで来場者対応を行い、大きな刺激を受けた。今年は見学ツアーも実施した。 ・令和8年度から専門学校も単位制に移行するため、カリキュラム編成や授業数の見直しを図る。	・東京ゲームショウへの出展は、学生の学びの成果を評価する良い機会であり、評価できる。
(2)学校運営 ・学生カルテ(電子)を活用して、担任だけでなく、学年長・学科長ともスムーズに情報共有をしている。学校全体で学生対応に取り組み、休学・退学防止に繋げている。	・学生一人ひとりの特性を把握し、共有することは難しいと思うので、システムを導入して、学校全体で取り組んでいることは評価できる。
(3)教育活動 ・企業や自治体(システム、ゲーム系)との連携に取り組んでいる。 ・授業レベルの均一化を図る。その一環として、若手職員の育成など、講師のスキルアップに取り組んでいる。	・企業との連携により、学生が今学んでいることが社会に出てどのように役立つかを知らせていることは評価できる。インターンシップなどをもっと活用して、社会とのつながりを実感できる取り組みを実現してほしい。

<p>(4)学修成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報処理国家試験については、基本情報技術者試験の合格だけでなく、より上位の応用情報技術者の合格者を増やす取り組みを行っている。 ・放課後には学習支援室を開催し、学生の学ぶ意識を向上させている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得を通して IT に関する知識を学ばせている活動は評価できる。IT 企業の営業職でも IT の基本的な知識が必須であり、IT を活用していない企業はないので、そのような場所でも活躍できる人材育成を続けてほしい。
<p>(5)学生支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度が開校 40 周年となるため、同窓会と協力して懇親会の開催を予定している。懇親会をきっかけに卒業生との繋がり、状況把握や支援の体制を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生の支援や卒業生とのつながりは重要である。引き続き学校、同窓会とで協力して活動をお願いしたい。
<p>(6)教育環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、本館 A101 教室、階段、2 階トイレの改修工事が完了。学習・生活環境の整備を次年度も継続して進めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の改修が進み、学生が過ごしやすい環境になっていることは評価できる。
<p>(7)学生の受入れ募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープンキャンパスへの参加で保護者の同伴が増加している。学びの内容だけでなく進学資金についての説明をしっかりと行っている。 	
<p>(8)財務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的によく取り組んでおり、特に改善項目はない。 	
<p>(9)法令等の遵守</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「倫理に基づく Quality First」のグループ理念が実現されている。 	
<p>(10)社会貢献・地域貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校周辺のごみ拾いや別大マラソンの支援など、ボランティア活動を実施している。 ・小中学生を対象としたプログラミング講座については継続して開催を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング講座の開催は良い取り組みであり、学生が地域の生徒に教えることで KCS の存在が身近になる。

以上